

議長定例記者会見 会見録

日時：令和7年2月4日 10時30分～

場所：全員協議会室

1 発表事項

○令和6年度みえ現場d e県議会「SDGsにも貢献する森林・林業」を開催します

2 質疑項目

○みえ現場d e県議会の開催について

○請願のオンライン受付について

○議員報酬について

1 発表事項

○令和6年度みえ現場d e県議会「SDGsにも貢献する森林・林業」を開催します

(議長) 皆さんおはようございます。ただ今から、2月の議長定例会見を始めさせていただきます。それでは発表事項に入らせていただきます。本日は発表事項として、1点、令和6年度みえ現場d e県議会「SDGsにも貢献する森林・林業」の開催について、発表させていただきます。具体的な内容につきましては、広聴広報会議座長であります、小林副議長から説明させていただきます。

(副議長) それでは、令和6年度みえ現場d e県議会の開催についてご説明いたします。お手元の資料、発表事項1をご覧ください。まず、「1開催趣旨」をご覧ください。森林は、多面的な機能を有しており、SDGsにはその達成に向けて、森林・林業・木材産業に関連するさまざまなターゲットが含まれております。平成26年4月の、本県における「みえ森と緑の県民税」の導入から10年が経過し、また、国においても、平成31年に森林環境税と森林環境譲与税が創設され、森林環境譲与税の県や市町への譲与開始から5年が経過するとともに、本年度からは森林環境税の賦課徴収も始まるなど、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する仕組みが本格的に動き出しています。このような中、本県における森林整備の取り組みの現状と課題、SDGsとの関わりなどについて、関係者の方々と意見交換を行い、森林整備の促進等に向けた議会での議論に反映させていきたいと考えております。「日時」は、2月14日金曜日14時から16時まで、「場所」は、熊野市文化交流センター多目的ルームです。「参加者」は、林業関係者、関係団体、木材利用関係者の方々6名と、三重県議会から、正副議長、広聴広報会議の委員、そして今回のテーマに関わりのある環境生活農林水産常任委員会委員長計11人が参加し、意見交換を行います。裏面の「6傍聴」に

ありますように、事前申し込み不要で、どなたでも傍聴していただけます。報道機関の皆さまにおかれましては、事前の情報発信や当日の取材等につきまして、どうぞよろしく願いいたします。私からの説明は以上です。

(議長) 副議長から説明をさせていただきました。私からは以上でございます。よろしく願いいたします。

2 質疑項目

〇みえ現場 d e 県議会の開催について

(記者) 質問に移らせていただきます。各社さまご自由に質問していただければと思います。お願いします。

(記者) 森林テーマというのは初めてですか。

(副議長) 森林のテーマはですね。

(記者) 林業がテーマも含めていかがでしょう。

(副議長) 平成26年に、森林づくりと森林を支える社会づくりというテーマでやらせていただいております。

(記者) テーマは広聴広報会議で決めたという感じですかね。

(副議長) そうですね。はい。

(記者) 県民税、それから森林環境譲与税の関係は理解したんですが、今改めて森林・林業について意見を聞くというところの意義、もう少し具体的に、例えばどういう施策に反映させていきたいかというところを含めて、お伺いします。

(副議長) 今回この森林・林業に決めさせていただいた経緯というか、先ほどおっしゃられました広聴広報会議の中で協議、いろんなテーマが出ましたけれども最終的にこれにさせていただいたというところの話ですけども、先ほどの、みえ森と緑の県民税の導入から10年が経ったということと、また今年度、国税になる森林環境税の賦課徴収が始まり、森林整備等に必要な将来に安定的に確保する仕組みが本格的に動き出しているというようなところと、あと県においても、この2月定例月会議に執行部が変更を進めてきた三重の森林づくり基本計画が議案として提出される予定であります。今回の意見交換にあたって、その基本計画で策定する令和7年から11年の5年間で注力して取り組む重点プ

プロジェクト、こちらに反映させていきたいと、そういう思いもあるところでございます。ちなみに重点プロジェクトとして、「新しい林業」推進プロジェクト、林業の担い手の確保・育成プロジェクト、みえの木づかい推進プロジェクト、みんなで取り組む三重の森づくり推進プロジェクトがございます。こういったことに、今回いただいた川上から川下までの森林・林業に関する取り組みを反映させていければなど、そういう思いでテーマを選定させていただきました。

○請願のオンライン受付について

(記者) 他はいかがでしょうか。発表項目以外も含めいかがでしょうか。

(記者) 発表項目以外でお尋ねしますが、請願のオンライン受付は発表しなくていい感じですか。またこれからですか。

(議長) 昨日代表者会議で、進め方というかお話もさせていただいて、代表者会議で決定させていただいたんですけども、あえて発表項目には入れていないですけど、やるということで昨日決まったということでもあります。代表者会議で。

(記者) むしろ定例の、毎年やっているイベントもそうですが、ああいう事案も公表なされたらどうかと思っただけなんですけど、改めて受け止めをお尋ねしますが、オンラインで受け付けられるというところが、議会自身もさることながら県民にとってどうかというところで、一つコメントいただけますでしょうか。

(議長) 私も議長就任のときに、県民の声をできるだけ反映しやすい議会にしていくという意味では、デジタル化、オンライン化は非常に重要だということは当初も申し上げておまして、今回、政策担当者会議で協議をいただいたということです。三重県議会の場合は、請願者の願意をできるだけ酌み取るために、政策担当者で話を聞かせていただくという機会を設けてはいますが、提出しやすい環境をどう整えていくかということを考えてときに、オンラインで請願者が提出できるというのも、そういった仕組みというのも重要だろうなと思っただけで、今回このようにさせていただきました。多くの県民の声が議会に反映できるような、そういった思いでやらさせていただきましたので、そういった手法もぜひご活用もいただけたらなと思います。

(記者) だいたい年間で今何件ぐらい請願を受け付けているかというのは。

(議長) 私も政策担当者をやっていたことあるんですが、多いときは。

(事務局) だいたい年間で約20本程度でございます。

(議長) だいたい年間20本ぐらいですね。

(記者) オンラインでというところが例えば不慣れだったりとかいうことで、そういったところの申請ができないという人も中にはいるかもしれませんが、それはそれで、また従来どおりの方法でも受け付けてもらえるということになりますか。

(議長) 従来どおりの方法はなくすわけじゃありませんので、それに加えてオンラインもできるということですので、従来どおりのやり方というのは当然残させていただきます。

○議員報酬について

(記者) 県当局が、特別職、知事、副知事、それから各種特別職の給与引き上げというのを表明されましたけれども、議員報酬についてはどのような議論の経過になっているか、どのような方針になっているか。今、現段階では。

(議長) 1月14日の代表者会議のときに、議員の分につきましては議会で、議提でやるということを決定いただきまして、それを受けて、知事のほうからはそういう議案が提出されるということで報告いただきました。それを踏まえて、昨日の代表者会議で、議会で提出するということを決めていますので、各会派で一度議論いただいて、次回の代表者会議にご報告いただくということになります。それぞれの議論の経過をご報告いただいた上で、次回の代表者会議で議論して決定をしていきたいと思っています。

(記者) 今のところ議長として、例えば各会派であったりとか、いろんな他の議員の方々と話して、どのような意見が多いとか、どのような状況になっているか、把握されているところありますか。

(議長) 昨日、各会派で検討してくださいと言ったところですので、今の段階で私がどうこうということを上上げるのはどうかなと思っていますけれども、しっかり各会派で議論いただけるのかなと思っています。

(記者) ちょっと質問変わりますが、一方で議員のことは議員で決めるとして、特別職の引き上げということについては議長としてどのように受け止められるか。これからの審議ということにはなってくるとは思いますが。

(議長) 報酬等審議会ですっかりいろんな客観的なデータとか専門的な知見を

もとの協議をいただいた結果、答申をいただいて、その答申に基づいて知事が判断をされたということですので、そういうことかなと思っています。

(記者) よろしかったでしょうか。質問は以上になります。ありがとうございました。

(議長) どうもありがとうございました。

(以 上) 10時42分 終了